

2 産科部門

M-FICU

床

後方病床

床

年

月

(1) 患者等取扱状況 : 周産期(妊娠22週以後)の分娩について記載するものとする。

分娩	週数別(注1)	分娩件数					出産児数			
		単胎	双胎	品胎	四胎以上	合計	生産	死産	合計	
分娩	22~23週	件	件	件	件	0件	人	人	0人	
	24~27週	件	件	件	件	0件	人	人	0人	
	28~33週	件	件	件	件	0件	人	人	0人	
	34~36週	件	件	件	件	0件	人	人	0人	
	37~41週	件	件	件	件	0件	人	人	0人	
	42週~	件	件	件	件	0件	人	人	0人	
	不明	件	件	件	件	0件	人	人	0人	
	合計	0件	0件	0件	0件	0件	0人	0人	0人	
	分娩	経膈分娩	件	件	件	件	0件	人	人	0人
		予定帝王切開	件	件	件	件	0件	人	人	0人
		緊急帝王切開	件	件	件	件	0件	人	人	0人
		合計	0件	0件	0件	0件	0件	0人	0人	0人
	院内出生後、NICU及びGCUに入院した児数(実数)				自院に入院		人	他院に入院		人
	母体搬送	要請元(注3)		要請件数			受入件数			
他の総合周産期母子医療センター		件			件					
他の地域周産期母子医療センター		件			件					
一般の病産院		件			件					
助産所		件			件					
自宅(注4)		件			件					
その他		件			件					
搬送元不明		件			件					
合計		0件			0件					
内訳		搬送ブロック内		件			件			
		搬送ブロック外		件			件			
		他県	神奈川県		件			件		
			千葉県		件			件		
			埼玉県		件			件		
	その他(県)		件			件				
搬送元不明		件			件					
産褥搬送件数					件					

母体救命搬送システム対象症例(スーパー母体救命)受入件数(再掲)(注5)	削除	母体救命として依頼を受けたもの	件
		母体救命に相当すると事後に判断したもの	件
胎児救急搬送システム対象症例(再掲)(注5)		胎児救急として依頼を受けたもの	要請 件 受入 件
		胎児救急に相当すると事後に判断したもの	件
未受診妊婦受入件数(再掲)			件
精神疾患を有する妊婦による分娩件数(再掲)(注6)			件
精神疾患を有する妊婦の搬送受入件数(再掲)			件

注1、2: 本欄の合計値について、例えば多胎の第1子が経膈分娩、第2子が帝王切開の場合等、合計件数が一致しない時は、その旨を

(3) 特記事項記入欄に記載すること。(例): 「双胎のうちの1件は第1子が経膈分娩、第2子が緊急帝王切開」

注3 : 周産期搬送コーディネーターや総合周産期センターが搬送調整を行っている場合は、要請元施設の区分で記入すること。

なお、要請元が不明な場合は、「搬送元不明」欄に記入すること。

注4 : 自宅を居所としている場合は、たまたま搬送元の出発点が外出先であっても「自宅」に含むものとする。

注5 : 対象症例については別紙1「母体救命搬送システム対象症例参照。また、対象症例受入れの都度すみやかに別紙2「東京都母体救命搬送システム 搬送受入に関する調査票」により詳細を報告すること。

注5 : 対象症例については別紙3「胎児救急搬送システム対象症例表」参照。また、対象症例受入れの都度すみやかに別紙4「東京都胎児救急搬送システム 搬送受入に関する調査票」により詳細を報告すること。

注6 : 精神疾患を有する妊婦とは、精神科等に通院している妊婦や臨床心理士・行政の支援へつないだ妊婦も含むものとする。

注7 : 当様式と別に搬送に係る台帳を作成し、搬送受入の依頼について記録を残すこと。

(2) 医療従事者数(1日の平均人数)

(3) 特記事項記入欄

医師		看護師等(M-FICU)		看護師等(後方病床)	
日勤	名	日勤	名	日勤	名
当直	名	準夜	名	準夜	名
		深夜	名	深夜	名

(記入者) 所属職・氏名